

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2023年6月現在

基本情報					
氏名	都竹 絢子	生年	1991年		
氏名(英字)	TSUZUKU ayako	メールアドレス	atsuzuku(a)mail.doshisha.ac.jp		
学歴	2010年4月 同志社大学文学部英文学科 入学 2014年3月 同志社大学文学部英文学科 卒業 2014年4月 同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻 博士課程(前期課程)入学 2016年3月 同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻 博士課程(前期課程)修了 2016年4月 同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻 博士課程(後期課程)入学 2022年3月 同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻 博士課程(後期課程)修了				
職歴	2020年4月-2023年3月 近畿大学経営学部 非常勤講師 2022年4月-2023年3月 同志社大学文学部 嘱託講師 2023年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構及び文学部 特別任用助手(有期研究員)				
指導教員	赤松 信彦 教授	取得学位	博士(英語学)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	外国語学習、英語教育				
科研費分類による研究分野	言語学、教育学およびその関連分野				
研究テーマ	日本人学習者による英語冠詞学習				
研究概要	英語冠詞は、冠詞システムのない日本語を母語とする日本人学習者にとって、習得の難しい文法項目であるとされている。その原因の1つとして、冠詞使用に影響する英語名詞の可算性について正しく理解できていない、という理由が考えられる。本研究は、認知言語学的知見を用いた学習アプローチを用いることで、日本人学習者が名詞の可算性を正しく理解し、英語冠詞を適切に使用できるようになるのかを調査することを目的とする。				
研究業績	【論文】 「認知言語学的知見を用いた英語冠詞システムの学習：名詞可算性と冠詞選択についての考察」、『主流』82号、pp.19~37、2021年2月 “A Cognitive Linguistics Approach to English Article Acquisition through Collaborative Learning: A Longitudinal Study”, Doshisha Literature(64), pp.43~74, March 2021 【研究発表】 「二言語間の名詞可算性について」、全国英語教育学会第44回京都研究大会、於龍谷大学、2018年8月 「日本人学習者による英語冠詞システムの習得：名詞可算性の学習」、同志社大学英文学会2022年度年次大会、於同志社大学、2022年10月 ▶業績一覧は、researchmap (https://researchmap.jp/atsuzuku) をご覧ください。				
所属学会	全国英語教育学会、関西英語教育学会				
キャリア関連					
志望進路	研究員				
進路					
自己PR	博士課程在学時より、日本人が苦手としている英語冠詞使用について研究をしています。効果的な英語学習方法を探求し、日本の英語教育に貢献したいと思っています。				
取得資格等					

※メールアドレスの(a)は@を表しています